

報道関係各位

平成25年2月7日
株式会社 クロス・マーケティング
(東証マザーズ3629)
株式会社リサーチ・アンド・ディベロブメント

中国4大都市・中間層、ITデバイスを駆使

「PC」利用率は20・30代で9割を超える、男性よりも女性が高いという結果

全体の利用率は「タブレット端末」4割、「スマートフォン」7割

—「中国4大都市・中間層の正体を探る」調査シリーズ③：ITデバイスの普及・利用状況と買物時に重視する情報源—

株式会社クロス・マーケティング(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:五十嵐幹 以下、クロス・マーケティング)と、株式会社リサーチ・アンド・ディベロブメント(所在地:東京都中央区、代表取締役:桑田瑞松 以下、R&D)は、2012年11月に中国の4都市(北京/上海/広州/成都)で20~49歳のミドル収入層男女(世帯月収:5,000~7,999元)を対象に、共同で調査を実施いたしました。

■調査背景・目的

最近、中国経済の減速・停滞を懸念する声が聞かれますが、今回の調査では、中国という「国」や「産業」単位ではなく、大都市に住む「中国人中間層生活者」に、個人の生活価値観や生活意識、買い物行動などを尋ね、「都市別」「性・年齢別」にその実態を明らかにしました。

※一部の調査内容は、R&Dが毎年10月に東京首都圏で実施している『CORE』調査を基に、日中比較を試みました。

■調査結果

- ✓ 個人所有と共用を合わせたPC利用率は、85%、20・30代では9割を超える。また、女性の方が男性より利用率が高い。
- 都市別の特徴では、個人PC利用率が顕著に高い、上海・広州女性。<図1>
- ✓ タブレット端末は20・30代男性および20代女性に浸透が進んでいる。広州では、男性より女性のタブレット利用率が高い。<図2>
- ✓ スマートフォン利用率は72%。20代男女、30代男性の利用率は8割を超える。
- 携帯電話中心の40代とは大きな差異が存在。<図3>
- ✓ 買物時の参考情報源の上位は「インターネット」「テレビCM」で、近所の人や友人の話・意見といった「クチコミ」がそれに続く。20・30代は男女ともインターネット情報の参考度合いが最も高く、40代はテレビCMが最も高い。
- 「クチコミ」は性・年代による差が無く、よく参考にされている。<図4>

◆自主調査レポートの続きはこちらへ⇒ <http://www.cross-m.co.jp/report/china20130207/>

<図1> パソコン(PC)利用実態

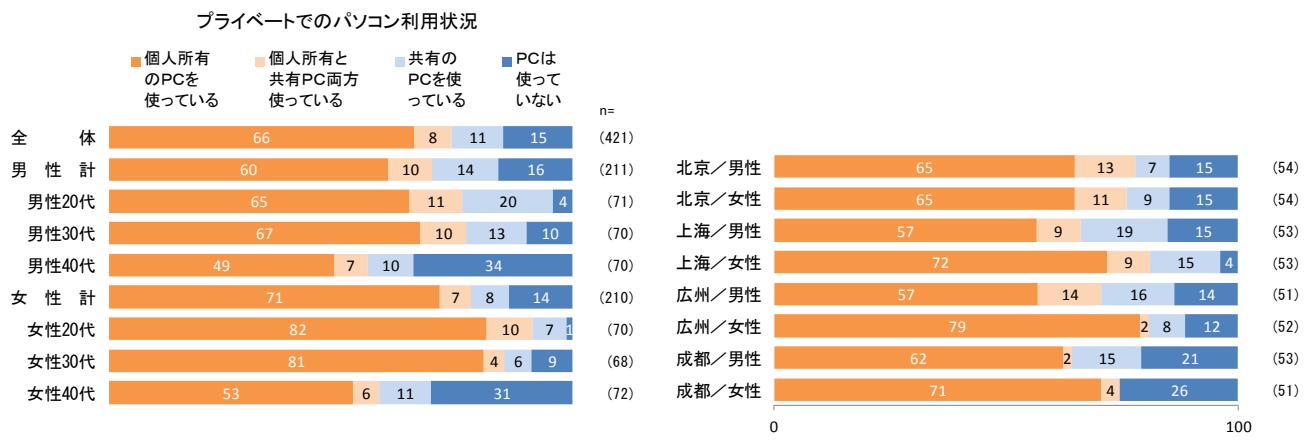


図2 タブレット端末利用実態

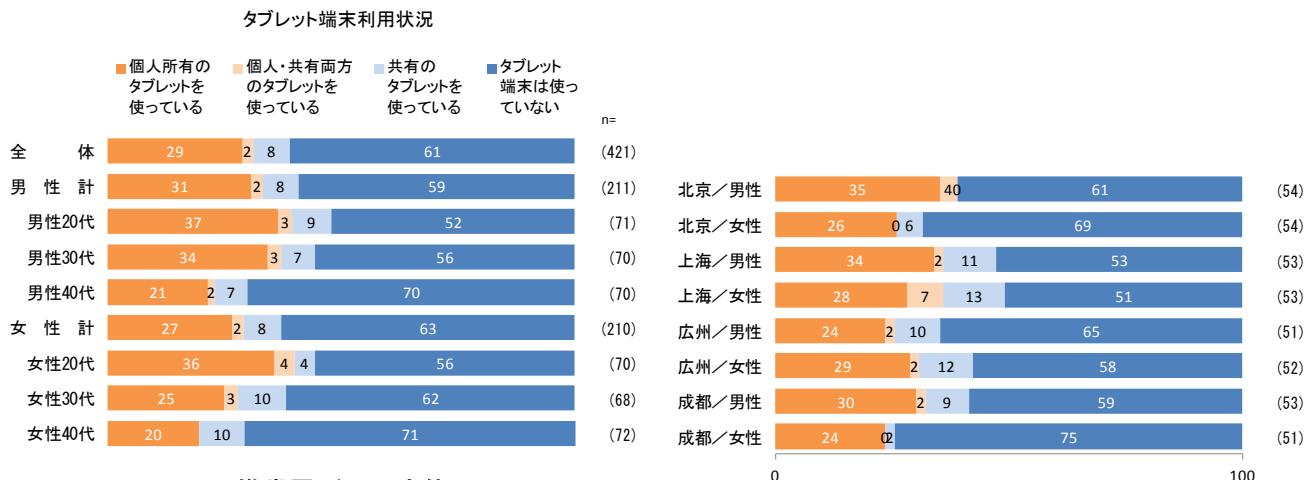


図3 スマートフォン・携帯電話利用実態

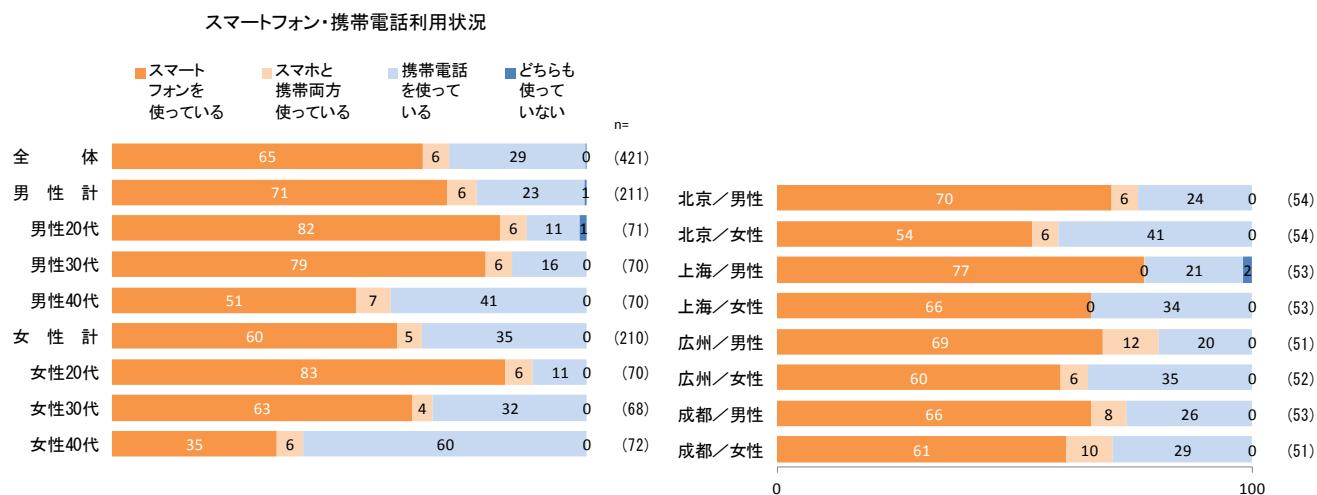
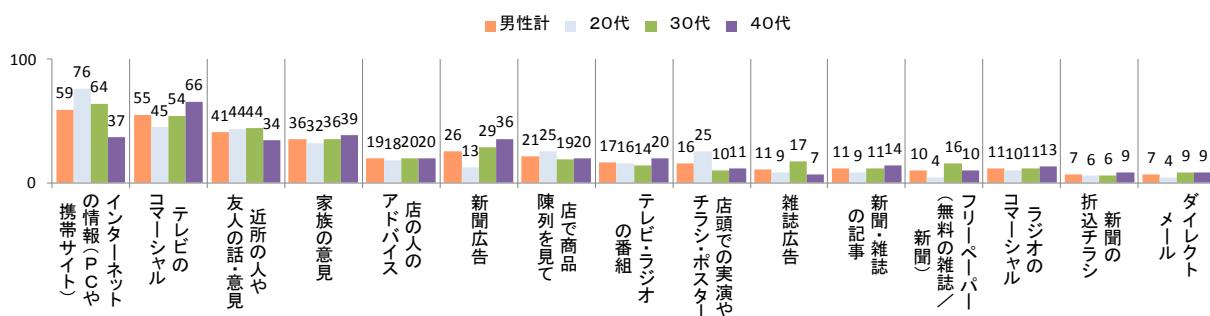
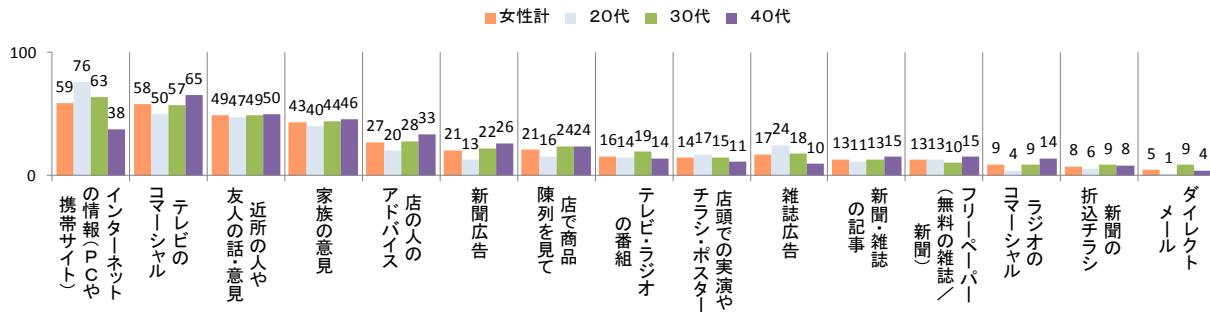


図4 買い物時の参考情報源

買い物の参考情報源(男性)



買い物の参考情報源(女性)



■調査概要

調査手法：“街頭リクルートによる1対1の面接調査と自記入調査の併用”実施
調査対象：中国4都市(北京/上海/広州/成都)20～49歳のミドル収入層男女(世帯月収:5,000～7,999元)
各都市約100名
調査期間：2012年11月23(金)～2012年11月25(日)
有効回答サンプル数：421サンプル
※一部の調査内容はR&Dが毎年10月に首都40km圏で留置法で実施している『CORE』調査を基に日中比較した。

クロス・マーケティングとR&Dでは、「中国4大都市・中間層の正体を探る」調査として、三本立てシリーズで順次発表してまいりました。

シリーズ①：中国人中間層の価値観・生活者マインド (2013/1/21 プレスリリースご案内済み)
シリーズ②：中国人中間層のライフスタイルと消費意識/態度 (2013/1/31 プレスリリースご案内済み)
シリーズ③：ITデバイスの普及・利用状況と買物時に重視する情報源(今回)

■会社概要■

会社名：株式会社クロス・マーケティング(東証マザーズ:3629)
所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目15番2号
代表者：代表取締役社長 五十嵐 幹
資本金：272,330千円
設立：2003年4月1日
URL: <http://www.cross-m.co.jp/>
事業内容：リサーチ事業、ITソリューション事業

会社名：株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント
所在地：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1丁目4番10号
代表者：代表取締役 桑田 瑞松
資本金：30,000千円
設立：1968年1月17日
URL: <http://www.rad.co.jp>
事業内容：マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション
経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

■本資料に関するお問い合わせ先■

株式会社クロス・マーケティング 広報担当 大島
TEL:03-3549-0328 e-mail:pr-cm@cross-m.co.jp

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント リサーチ&ソリューション部 野口／販促担当 小林
TEL:03-5642-7711(代表) e-mail:radnews@rad.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
<例>「クロス・マーケティングとリサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると…」